

技報オンラインサービス実施のご案内



通信ソサイエティ(通ソ)では2010年10月より、情報・システムソサイエティ(ISS)では2013年4月より、基礎・境界ソサイエティ(NOLTAソサイエティを含む)では2014年4月より、ソサイエティ活性化と会員の利便性の向上を目的として、技報オンラインサービスを開始いたしました。このサービスでは、技術研究会報告(以下、「技報」とします)のPDFファイルを、ネットワークを通じてダウンロードできます。

また、通ソ/エレクトロニクスソサイエティ(エレソ)/ISSでは、技報完全電子化研究会の取り組みを実施しております(通ソ:2016年4月より、エレソ/ISS:2017年4月より)。電子版技報による研究会の実現を目指し、技報オンサイトビュー、技報ペーパービュー、技報アーカイブの3種類のサービスを実施します。詳しくは詳細説明のページをご覧ください。

詳細説明: 通ソのページ http://www.ieice.org/cs/kensen/special/e_gihou2017/e_gihou2017_index.html
 エレソのページ http://www.ieice.org/es/jpn/trial2017_HP/About_ES_trial.rev.html
 ISSのページ https://www.ieice.org/iss/jpn/notice/About_ISS_trial.html

サービス名	実施ソ	対象者	ダウンロード可能期間	ダウンロード可能な技報PDF
技報オンサイトビュー	通ソ/エレソ/ISS	参加費支払い者	研究会開催日の1週間前～1ヶ月後まで	当該開催の通ソ/エレソ/ISS研究会の技報
	通ソ	年間登録者	研究会開催日の1週間前～年度末まで	当年度の登録研究会の技報、及び、併催された通ソ研究会の技報
技報ペーパービュー	通ソ	ダウンロード権購入者	ダウンロード権を登録してから2年間	当該ソサイエティの技報すべて
技報アーカイブ	通ソ	2017年度は冊子体技報年間予約者	当年度とその翌年度の4,5月	当該ソサイエティの技報すべて(ただし開催日から1ヶ月が経過したもの) ※複数ユーザで共有可
年間予約特典	ESS/NOLTA/通ソ/ISS	冊子体技報年間予約者	予約年度とその翌年度の4,5月	予約している研究会の技報すべて、及び、ESS/NOLTA/通ソ/ISS技報を35回(通ソ技報は開催日から1ヶ月が経過したもの)

本件問合せ先: ken-support @ ieice.org

(著作権に関する注意) 技報PDFファイルの2次利用は禁止されております。第三者に配布したり、ネットワークを介して第三者が閲覧できる状態にすることはできません。なお、本会の「著作権規程の基本方針」で定められた利用基準により、著者または所属機関が非営利目的で自身のWebページに技報のPDFファイルを掲載することが認められています。詳しくは、こちらのURLをご覧ください。(<http://www.ieice.org/jpn/copyright/houshin.html>)

ご利用手順

次の操作により、開催プログラムなどに技報ダウンロードのためのPDFアイコンが表示されるようになります。

(1) ユーザ登録を行います(既登録の方は不要です)

<https://www.ieice.org/ken/user/>にアクセスし、「こちらをクリックしてユーザ登録をおねがいたします」をクリックします。

ユーザ情報を入力して「次へ」ボタンを押します。

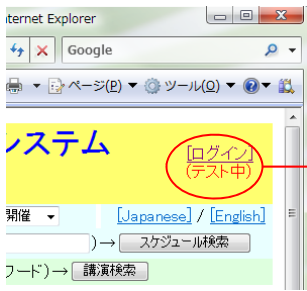
情報を確認して「データベースに登録する」ボタンを押します。

仮登録状態となります。

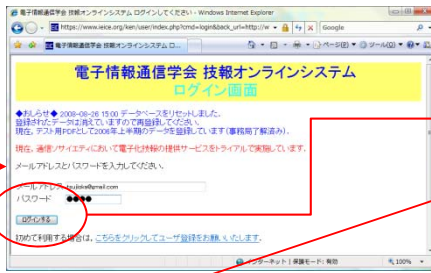
確認メールに書かれているURLを72時間以内にクリックすると、本登録が完了します。



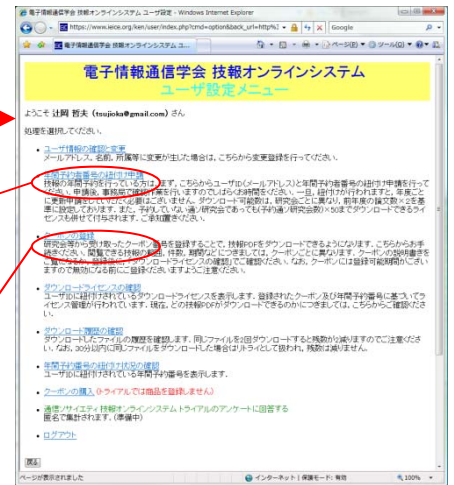
(2) 技報オンラインシステムにログインします



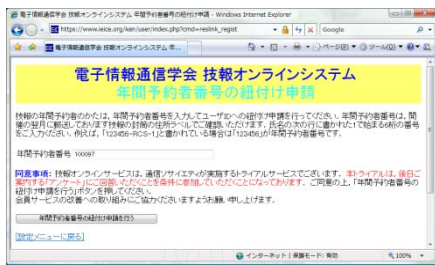
http://www.ieice.org/ken/ にアクセスします。右上にある「ログイン」をクリックします。



メールアドレスとパスワードを入力して「ログイン」ボタンを押します。画面右上に「ユーザ設定」のリンクが表示されるようになります。これをクリックしてください。

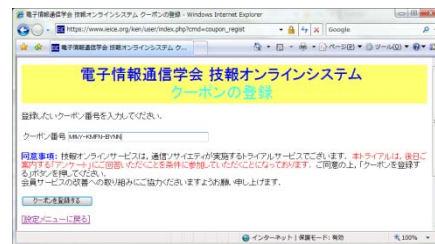


(3A) 技報予約者の方:
年間予約者番号の申請を行ってください。



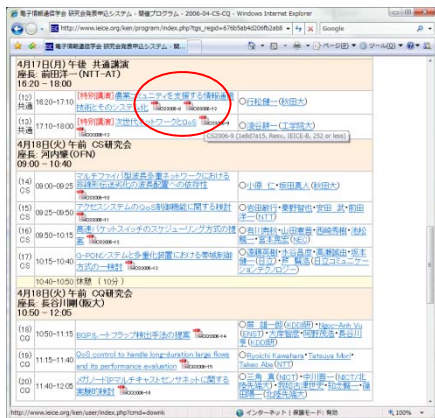
ご覧いただける期間は年間予約している年度内です。ダウンロード数には制限があり、予約している研究会は1年間の掲載原稿数の約2倍の回数まで(基礎・境界ソサイエティとNOLTAソサイエティは約3倍の回数まで)、予約していない研究会については、35回までダウンロードできます。

(3B) 研究会からダウンロード権番号を受け取られた方:
ダウンロード権の登録を行ってください。



ご覧いただける期間は、ダウンロード権登録後6ヶ月間です(ダウンロード権によっては1年間の場合もあります)。ダウンロード数と閲覧できる研究会には制限があります。詳しくは配布されたダウンロード権の添え書きをご覧ください。

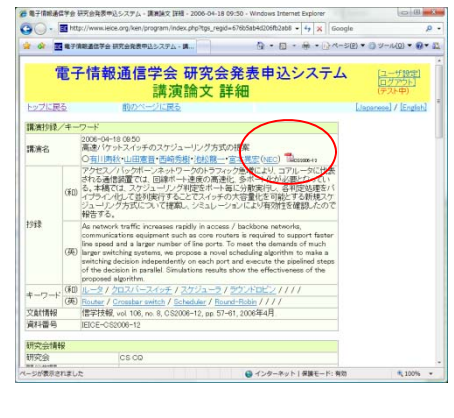
(4) 登録が終わりますと、開催プログラム、講演検索画面などにPDFアイコンが表示されるようになります。



開催プログラム



講演検索結果



講演論文詳細

本サービスにおきましては、ダウンロード権によってダウンロード回数が制限されております。次ページで、使用ダウンロード権の確認方法を説明いたします。

使用ダウンロード権の事前確認方法について（講演ごとのダウンロード）

(1)	14:15-14:40	小型/シフト送受信機の開発 [Preview]	SANE2008-1	○白倉政志・谷島正信・岡本隆司・栗野雄太 (JAXA)・梅田裕一・江島二葉 (MELCO)
(2)	14:40-15:05	独立成分分析の特徴量に基づく推定方法 [Preview]	SANE2008-1 (4f192d00, 予約者特典, SANE研究会, 残数270以下)	○栗野雄太 (三菱電機)

(1)	14:15-14:40	小型/シフト送受信機の開発 [Preview]	SANE2008-1	○白倉政志・谷島正信・岡本隆司・栗野雄太 (JAXA)・梅田裕一・江島二葉 (MELCO)
(2)	14:40-15:05	独立成分分析の特徴量に基づく推定方法 [Preview]	SANE2008-1 (リトライ)	○栗野雄太 (三菱電機)・鈴木信弘・岡村 敦 (三菱電機)

(1)	12:20-12:45	異機種混合並列計算ミドルウェア [Preview]	ICM2008-1	○武田和夫・小野智司・中山 茂 (鹿児島大)
(2)	12:45-13:10	分散処理開発 [Preview]	ICM2008-1 (06ebd900, 予約者特典, 通ソ, 残数36以下)	○中山 茂 (鹿児島大)

(6)	16:15-17:00	5月29日(木)午後 招待講演2 16:15 - 17:00 共通 [特別講演] 移動通信の30年 ~ RCS研究会20周年を記念して ~ [Preview]	ICS2008-3	○山尾 泰 (電通大)
-----	-------------	---	-----------	-------------

PDFアイコンにマウスポインタを乗せると使用されるダウンロード権情報が表示されます。左の例では、SANE研究会を年間予約しているため、そのダウンロード権が使われることが示されています。

ダウンロード権の残回数も同時に示されますが、ページをリロードしなければ残数が更新されませんので「〇〇以下」という表記となっています。

なお、1週間以内であれば、同じPDFを再ダウンロードしてもダウンロード残数は減りません。このことは「リトライ」と表示されていることで判断できます。

また、[Preview]をクリックすることで、ダウンロード前に1ページ目を画像で確認することもできます。

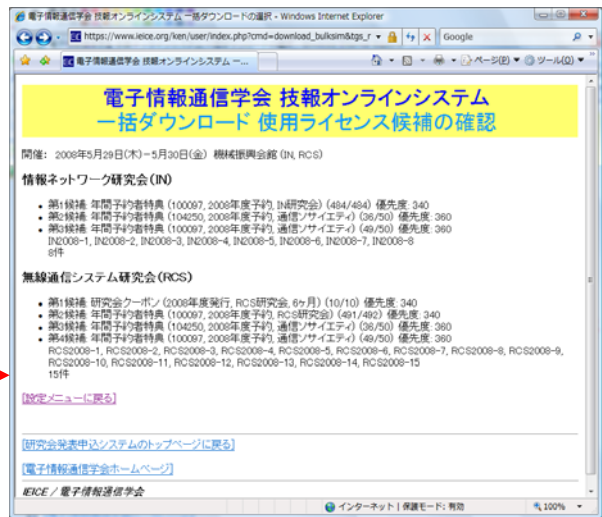
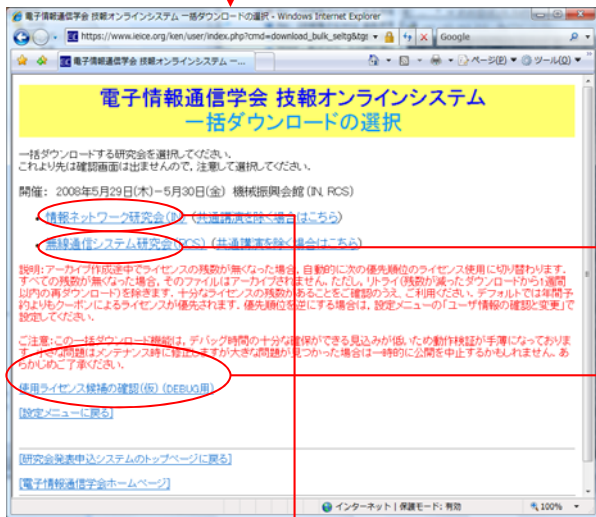
年間予約していない研究会についても、35回までダウンロードが行えます(それぞれに予約がある場合に限り)。 「ESS/NOLTA/通ソ/ISS」と表示されていることで判断できます。

共通講演については、併催の場合、内容が同じで、資料番号とページ番号のみ異なる2つのPDFが存在します。この場合はPDFアイコンが2つ表示されます。

使用ダウンロード権の事前確認方法について（一括ダウンロード）

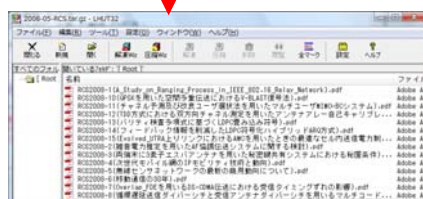
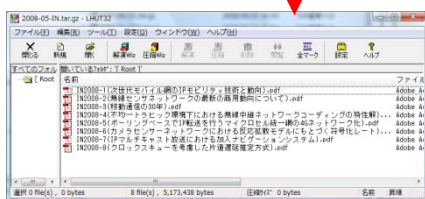
- ご注意：迷惑メール対策のためメールアドレスの一部の文字を置換しております。ご了承ください。
- この開催に関する講演論文リストをダウンロードする ※ こちらのページの最下にあるダウンロードボタンを押してください
 - 「[技報PDFファイルの一括ダウンロード選択画面に進む](#)」 ※ こちらのページから研究会を選択してください
 - 「[研究会資料\(技術研究報告\)の当日価格一覧](#)」 ※ 開催2週間前頃に掲載されます
 - 「[研究会発表+参加方法, FAQ](#)」 ※ 一読ください

開催ごとにPDFを一括ダウンロードすることができます。開催プログラムの下部にある「一括ダウンロード選択画面に進む」をクリックしてください。



一括ダウンロードでは候補ダウンロード権の中から自動的に使用ダウンロード権が選択されます。事前確認のためには専用ページ「使用候補ダウンロード権の確認」にアクセスしてください。

第1候補のダウンロード権から順に使用されます。アーカイブ途中でダウンロード権の残回数が0になった場合は自動的に第2候補に切り替わります。確認と操作を慎重にお願いいたします。



アーカイブの中身のファイル名のフォーマットはユーザ情報画面で設定できます。左図は設定が「資料番号+タイトル」で「タイトルを70バイト以下に短縮」「漢字コードはShift_JIS」の例です。解凍後のファイル一覧が目次の代わりとなりますのでご活用ください。1週間以内でしたら「資料番号.pdf」など他のファイル名形式で再ダウンロードしても残数が減りません。両ファイル名形式でアーカイブが必要な方は再ダウンロードしてください。

FAQ(よくある質問)について (1)

■ユーザ登録, 紐付け申請

Q 技報オンラインサービス(技報電子化サービス)の対象者は誰ですか？

A 冊子体の技報を年間予約している人(及びその技報を日常的に閲覧できる立場にある人), ダウンロード権番号をお持ちの人(技報オンサイトビュー利用者(年間登録者, 参加費支払い者, 掲載料を支払った著者(通ソ・エレン)), 技報ペーパービュー利用者(ダウンロード権購入者), 技報アーカイブの利用者), 発表者(通ソ・エレン以外), 研究会幹事団等です。

Q 大学図書館が窓口となって代理で年間予約をしています。この場合でも本サービスを利用できますか？

A できます。この場合は、その冊子体の技報を日常的に閲覧できる立場にある人が対象となります。例えば、大学の図書館の場合は、教職員や学生が対象となります。企業図書館の場合は、社員が対象となります。

Q 図書館職員の場合は非会員で登録すればよろしいのでしょうか？

A 所属機関が維持員の場合は維持員(維持員に所属する個人), そうでない場合は非会員, わからない場合は「選択してください」のまま登録してください。なお、学生の場合は「学生」または「非会員(他学会の学生)」を選択してください。

Q ユーザ登録時の選択肢が多くてよくわかりません。

A 後から設定変更が可能ですので、一旦、デフォルト(default)の値を選択してご登録ください。

Q 研究室の学生が技報PDFを閲覧できるようにしたいのですが。

A 学生様にユーザ登録をしていただき、ログイン後、研究室で予約中の技報の「年間予約者番号」で紐付け申請をしてください。予約者と申請者の整合性の確認のため、ユーザ登録時の所属等の入力 is 正確にお願いいたします。年間予約者番号が同じ場合、閲覧できる回数は紐付けされたユーザ間でシェアされることとなります。シェアしているダウンロード権のダウンロード履歴は相互に閲覧できるようになります。なお、紐付けされたユーザ数が多くなった場合(おおむね10~20人を超えた場合)や所属等が異なる紐付け申請の場合、事務局よりご事情をお聞かせいたします。ご事情によりましては、その年間予約者番号に対する追加の紐付け申請をお断りすることがございます。ご注意ください。

※なお、通ソでは、学生員に対して3研究会の年間登録に相当するダウンロード権を無償配布しています。ユーザ設定メニューを開いて申請してください。

Q 年間予約者番号の紐付け申請の承認作業は何日で終わりますか。

A 事務局では、1~3営業日に1回のタイミングで承認処理をしています。特にお急ぎの場合は、事務局に電話/メールでご相談ください。紐付け完了のご連絡は致しておりませんのでご了承ください。

Q 情報・システムソサイエティから、技報オンラインサービスの案内をいただきました。通信ソサイエティのサービスで、既に、ユーザ登録済みですが、再度、ユーザ登録が必要でしょうか。

A いいえ。共通のWebシステムでサービスしていますので、再登録の必要はありません。単純に、提供する研究会技報PDFが増えた状態になったとお考えください。

Q 2つの研究室の所属しています。複数の年間予約者番号に紐付けできますか？

A はい。できます。

■技報の年間予約, ダウンロード権

Q 年間予約特典のダウンロード権の有効期間は、いつからいつまでですか？

A 年間予約特典のダウンロード権の有効期限は事務局が登録/更新した日から翌年度の5月末までです。

Q 年間予約特典のダウンロード権の更新はいつですか？

A 新年度になりましたら事務局が冊子体の「技術研究報告予約申込書」を集計し、新しいダウンロード権を一括登録いたします。登録時期は5月下旬を予定しています。前年度のダウンロード権と重複する期間が発生しますが、この場合は、前年度のダウンロード権から(有効期限の近いダウンロード権から)順に使用されます。

Q MR研究会の技報が読めないのですが。 ※ MR研究会は例です

A 現時点におきましては、技報オンラインサービスは基礎・境界ソサイエティ/NOLTAソサイエティ/通信ソサイエティ/エレクトロニクスソサイエティ(5研究会のみ)/情報・システムソサイエティ配下の研究会での実施に限られております。基礎・境界ソサイエティ/NOLTAソサイエティ/通信ソサイエティ/エレクトロニクスソサイエティ(5研究会のみ)/情報・システムソサイエティ配下の研究会は、次の通りです。
・基礎・境界ソサイエティ(ESS)

回路とシステム研究会(CAS), 情報理論研究会(IT), 信頼性研究会(R), 超音波研究会(US), 応用音響研究会(EA), VLSI設計技術研究会(VLD), 情報セキュリティ研究会(ISEC), 信号処理研究会(SIP), ワイドバンドシステム研究会(WBS), システム数理と応用研究会(MSS)※CST研究会から改名, 思考と言語研究会(TL), 技術と社会・倫理研究会(SITE), 安全性研究会(SSS), ITS研究会(ITS), スマートインフォメディアシステム研究会(SIS), イメージ・メディア・クオリティ研究会(IMQ), 高信頼制御通信研究会(RCC)※2014年4月から, バイオメトリックス研究会(BioX)※2014年4月から, 安全・安心な生活とICT研究会(ICTSSL)※2016年4月から

・NOLTAソサイエティ

非線形問題研究会(NLP), 複雑コミュニケーションサイエンス研究会(CCS)※2015年4月から

(次ページに続く)

FAQ(よくある質問)について (2)

(前ページからの続き)

・通信ソサイエティ(通ソ)

アンテナ・伝播研究会(AP), 宇宙・航行エレクトロニクス研究会(SANE), 衛星通信研究会(SAT), 環境電磁工学研究会(EMCJ), ネットワークシステム研究会(NS), 情報ネットワーク研究会(IN), 通信方式研究会(CS), 電子通信エネルギー技術研究会(EE), 光通信システム研究会(OCS), 無線通信システム研究会(RCS), コミュニケーションオリティ研究会(CQ), フォトニックネットワーク研究会(PN), 光ファイバ応用技術研究会(OFT), 情報通信マネジメント研究会(ICM)※TM研究会から改名, モバイルネットワークとアプリケーション研究会(MoNA)※MoMuC研究会から改名, インターネットアーキテクチャ研究会(IA), スマート無線研究会(SR)※2014年4月ソフトウェア無線研究会から改名, アドホックネットワーク研究会(AN), ユビキタス・センサネットワーク研究会(USN), 知的環境とセンサネットワーク研究会(ASN)※AN研究会とSN研究会が合併, 短距離無線通信研究会(SRW), ヘルスケア・医療情報通信技術研究会(MICT)

※2014年4月から, 無線電力伝送研究会(WPT)※2014年4月から

・エレクトロニクスソサイエティ(ES) (電子化実施は5研究会のみ)

超電導エレクトロニクス研究会, マイクロ波研究会(MW), 光エレクトロニクス研究会(OPE), レーザ・量子エレクトロニクス研究会(LQE), マイクロ波・ミリ波フォトニクス研究会(MWP) ※2017年度はこの5研究会で技報完全電子化トライアルを実施します. 参加費ダウンロード権を購入するか掲載料を支払う(著者のみ)ことで技報PDFを閲覧できます.

・情報・システムソサイエティ(ISS)

MEとバイオサイバネティクス研究会(MBE), ライフインテリジェンスとオフィス情報システム研究会(LOIS)※OIS研究会から改名, 画像工学研究会(IE), 言語理解とコミュニケーション研究会(NLC), コンピュータシステム研究会(CPSY), コンピューテーション研究会(COMP), 人工知能と知識処理研究会(AI), ソフトウェアサイエンス研究会(SS), データ工学研究会(DE), パターン認識・メディア理解研究会(PRMU), ディペンダブルコンピューティング研究会(DC), ニューロコンピューティング研究会(NC), 知能ソフトウェア工学研究会(KBSE), 音声研究会(SP), 教育工学研究会(ET), 医用画像研究会(MI), ソフトウェアインタプライズモデリング研究会(SWIM), リコンフィギャラブルシステム研究会(RECONF), 情報通信システムセキュリティ研究会(ICSS), 情報論的学習理論と機械学習研究会(IBISML), マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント研究会(EMM), クラウドネットワークロボット研究会(CNR), サービスコンピューティング研究会(SC)

Q 当年度に予約していた技報を次年度に取りやめると, 次年度は当該研究会の技報PDFの閲覧ができなくなるのですか?

A すべての基礎・境界ソサイエティ/NOLTAソサイエティ/通信ソサイエティ/情報・システムソサイエティの研究会技報の年間予約を中止すると閲覧できなくなります. 一部の研究会のみを中止すると, その分の技報PDFは「予約していない研究会の技報をダウンロードできるダウンロード権(ESS/NOLTA/通ソ/ISSで共通の35回ダウンロード分)」で閲覧していただくことになります.

Q 年度途中で技報の予約申込みをした場合でも本オンラインサービスを利用できますか?

A できます. ただし, 年間予約情報の登録はバッチ作業で行っておりますので, タイミングによりましては多少のお時間をいただく場合がございます. 特にお急ぎの場合は事務局にご相談ください. また, できるだけ年度末までに翌年度分の予約申込みの完了をお願いいたします. 継続につきましては, 例年, 1月末に郵送でご案内をお送りしております.

Q ESS/NOLTA/通ソ/ISSで共通の35回ダウンロード権はどのような経緯で発行されているのでしょうか?

A 技報オンラインサービスは通ソからスタートしましたが, 検討段階の期間における, 通信ソサイエティ専運営会議, 並びに, 技報電子化WGの議論におきまして, 「併催時に同じ部屋で開催されている相手研究会の技報が読めないのは不便である」という意見がありました. 確かに, 研究会場において相手研究会の技報が読めないことは会場での議論を阻害することになりかねないということから, 予約していない研究会の技報も, 数を制限してダウンロードできるようにしました. 通ソのトライアル当初の制限回数は50回でした. この根拠は, 当時の最小規模の研究会における年間発表原稿数が100であり, その50%以下に回数をとどめるべきという議論の結果からです. 通ソに引き続いて, ISSとESSについても同様の形態で開催したいとのことから, ISSとESSにおきましても, ソサイエティのどの研究会も読めるダウンロード権を添えています. なお, ISSは共催が多く, 併催の回数が少ないということから20回の回数でスタートしました. 2015年度以降はESS/NOLTA/通ソ/ISS共通で35回となりました.

なお, 通ソでは, 2017年度から技報完全電子化研究会の本運用が開始され, これに伴い, ESS/NOLTA/通ソ/ISS共通のダウンロード権を使って通ソ技報をダウンロードする場合は開催日の1ヶ月後からしか行えなくなります. 開催当日に閲覧する場合は, 技報オンサイトビュー(参加費支払いまたは年間登録)をご利用ください.

FAQ(よくある質問)について (3)

■ダウンロード権

Q ダウンロード権番号をもらう方法を教えてください。

A1 【参加費ダウンロード権・年間登録ダウンロード権】通信ソサイエティでは2016年4月から、エレクトロニクスソサイエティでは2017年4月から、技報完全電子化研究会を実施しています。これにもないまして、2016年3月より、技報完全電子化トライアルを実施している研究会(2017年度は通ソ全研究会と、エレソMW/MWP/OPE/LQE/SCE研究会)の参加費ダウンロード権(通ソとエレソ)と年間登録ダウンロード権(通ソのみ)の販売を行っています。両者の違いは、当該開催分の技報を開催日の前後だけ読めるのか、当該研究会の技報を年度末まで1年を通して読めるのかという点です。なお、学生員はアンケート回答することで技報完全電子化研究会(通ソのみ)の技報PDFを年度末までダウンロードできる年間登録ダウンロード権(3研究会分)を無償で取得できます。

A2 【10回ダウンロード権】通信ソサイエティでは2015年秋から10回ダウンロード権の販売を開始しました。ユーザ設定メニューから購入できます。学生員・海外会員はアンケートに回答することで通ソの技報を10回ダウンロードできるダウンロード権を取得できます。(2016年度で終了しました)

A3 他学会との併催/協催や海外での開催時など、会員増強が見込める開催の場合は、研究会幹事からの申請/認可によって、当該開催に限定したダウンロード権を配布しています。閲覧期間は著者用ダウンロードの期間と同じで、開催日初日の1週間前(技報発行日)から開催日初日の1ヶ月後までです。(2016年度で終了しました)

Q 10回ダウンロード権、参加費ダウンロード権、年間登録ダウンロード権を複数ユーザで共有(シェア)できませんか？

A 10回ダウンロード権、参加費ダウンロード権、年間登録ダウンロード権は個人用という位置付けですので、共有できません。なお、2017年5月から、通信ソサイエティの技報年間予約者のうち、代表者のメールアドレスを登録していただいた方々を対象として、技報アーカイブを開始いたします(いたしました)。技報アーカイブでは、複数人で共有できる共有ダウンロード権を配布いたします。

Q ダウンロード権を販売してもらうことはできませんか？

A 通信ソサイエティでは2015年秋から、エレクトロニクスソサイエティでは2017年春から、ダウンロード権の販売を開始しました。他のソサイエティについては、検討中となっています。

■ダウンロード権の消費順

Q 年間予約等による個人ダウンロード権と、年間予約特典や技報アーカイブによる共有ダウンロード権では、どちらが優先して使用されますか？

A デフォルトでは個人用のダウンロード権が優先されますが、ユーザ設定画面で優先度を変更して消費順を指定することができます。

Q 研究室での年間予約、図書館での年間予約の2つの年間予約者番号に紐付けている場合、どちらが優先して使用されますか？

A デフォルトでは年間予約者番号の小さい順に消費されます。変更したい場合は、ユーザ設定の「ダウンロード権消費優先順位の確認と変更」のメニューをご利用ください。ユーザごとに任意の優先順位を与えることができます。

Q ダウンロードする前にどのダウンロード権が優先して使用されるか確認できますか？

A 開催プログラム下部の「技報PDFファイルの一括ダウンロード選択画面に進む」をクリックし、「事前に使用ダウンロード権の候補を確認する」をクリックすることで、確認することができます。

■ダウンロード

Q 何年前からの技報PDFを閲覧できますか？

A 現在、通信ソサイエティでは2006年度以降の技報PDFが、その他のソサイエティでは2007年度以降の技報PDFファイルが登録されています。これは、電子投稿の開始時期が、通ソは2006年度、通ソ以外は2007年度であるためです。

Q 発行日以降に技報PDFをダウンロードできるとありますが、技報の発行日とはいつですか？

A おおむね開催日の1週間前ですが、厳密には、冊子体の技報に掲載されている1件目の原稿が発表される発表日の1週間前が発行日となります。特殊な例としては、A研究会とB研究会の併催時、A研究会の発表が開催1日目に無く2日目から始まる場合は、A研究会の技報の発行日は開催日2日目の1週間前が発行日となります。また、開催日ごとに冊子が分かれている場合はそれぞれの冊子について発行日が異なりますのでご注意ください。

Q ダウンロード回数とは、論文単位ですか？ 冊子単位ですか？

A ファイル単位です。1ファイル=1講演論文となっています。共催の場合、内容が同じでファイル名が異なる技報PDFファイルが発行されますが、それらには取り扱われず。同じファイルであっても、1週間を過ぎてからの再ダウンロードは2回目としてカウントされますのでご注意ください。

Q クリックのたびにダウンロードしますか？とポップアップが出ます。これを消したいのですが、

A ユーザ設定で変更できます。

Q 技報PDFを一つ一つダウンロードするのがとても面倒です。

A 開催プログラム画面の最下部に、「技報PDFファイルの一括ダウンロード選択画面に進む」というリンクがあります。ご活用ください。

Q ネットワーク障害により、ダウンロードに失敗しました。カウントをもとに戻して欲しいのですが、

A すぐに再ダウンロードを実施してください。1週間以内の同ユーザによる同じファイルの再ダウンロードはリトライと見なされ、ダウンロード権の残回数は減りません。これは、ネットワーク障害時の対策の他、研究会当日に会場でダウンロードした原稿を翌週に職場でもう一度閲覧する場合、あるいは、ファイル名形式(例:ファイル名に論文タイトルを含める/含めないなど)を変更して再ダウンロードする場合などを考慮しての措置となっています。

FAQ(よくある質問)について (4)

■技報完全電子化研究会について

Q 技報完全電子化研究会とは何ですか？

A 技報の冊子体を廃止し、電子版技報だけの発行で開催される研究会のことです。詳細はこちらのページをご覧ください。

通ソのページ http://www.ieice.org/cs/kensen/special/e_gihou2017/e_gihou2017_index.html

エレンのページ http://www.ieice.org/es/jpn/trial2017_HP/About_ES_trial.rev.html

■技報オンサイトビュー、技報アーカイブ、技報ペーパービューについて

Q それぞれの違いは何ですか？

A (1) 技報オンサイトビューは、開催日の当日に技報PDFをダウンロードできるサービスです。参加費では開催日の前後の期間(開催日の1週間前から1ヶ月後まで)、年間登録では1年を通して、当該研究会の技報を閲覧できます。(2) 技報アーカイブは、研究会指定ではなく、通ソ全体の技報PDFを1年を通して閲覧ができます。ただし、開催日から1ヶ月を経過しないものはダウンロードできません。(3) 技報ペーパービューは、通ソ全体の技報を開催日の1週間前からダウンロードできるサービスで、必要な技報PDFだけを選んでダウンロードするのに適しています。利用期間は2年間となっています。

■その他

Q 技報オンラインシステムはどのような予算で開発されましたか？

A 通信ソサイエティのソサイエティ活性化経費が使われました。開発期間は2008年5月～11月、及び、2010年1月～3月、及び、2015年6月～2016年3月、及び、2016年度です。

Q 技報オンラインシステムのプログラムの概要について教えてください。

A プログラム規模は約35キロラインで、開発言語はPHP, C言語, HTML, JavaScript, MySQLです。

(参考: 研究会発表申込みシステムのプログラム規模は約65キロラインで、合計約100キロラインとなっています)(2010年当時)

(2017年3月現在、技報オンラインシステム+研究会発表申込みシステムのプログラム規模は、PHP:78キロライン、HTML/JavaScript:51キロライン、C言語/MySQL:19キロラインであり、合計148キロラインです)

Q 開発に従事したのは誰ですか？

A 大阪市立大学大学院工学研究科に在学中だった大学院生約10名と同大学教員1名(監督として、ボランティア)が従事しました。